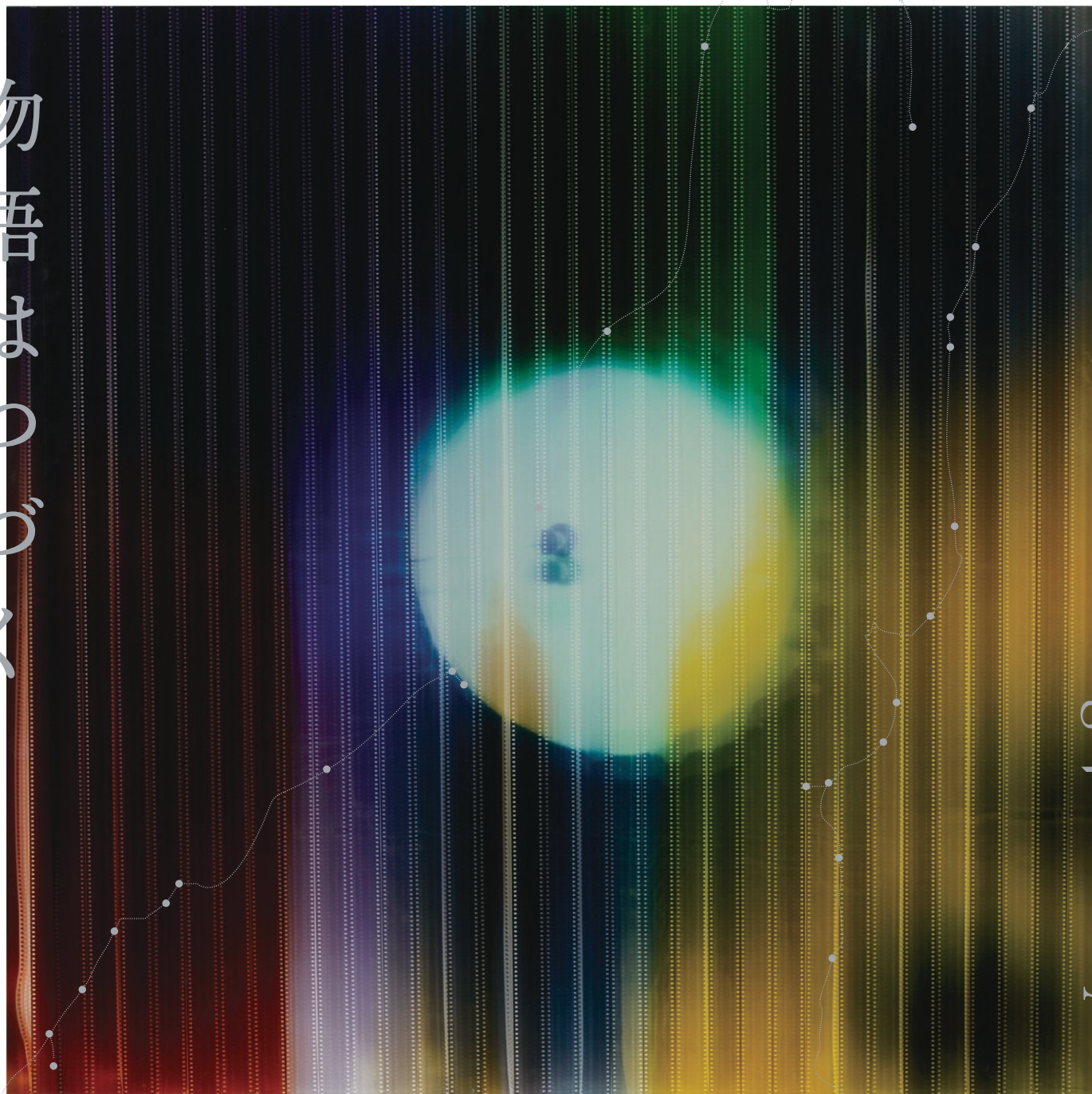


スイトピアセンター開設30周年記念事業

竹中美幸展

物語はつづく

Never Ending Journey



新たな物語(電灯) 2017年
撮影:野口浩史 提供:Art Front Gallery

2023年2月4日|土| - 3月21日|火祝|

9:00-17:00(入場は16:30まで) 休館日:毎週火曜日(祝日を除く)、2月13日|月|、24日|金|

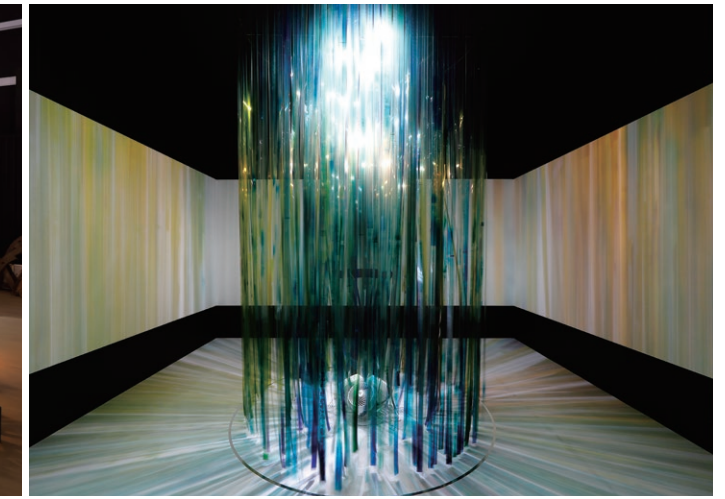
会場:大垣市スイトピアセンター アートギャラリー 入場無料

主催:大垣市・大垣市教育委員会
運営:公益財団法人 大垣市文化事業団
協力:ArtTank

TAKENAKA
Miyuki

問合せ
大垣市スイトピアセンター(公財)大垣市文化事業団
〒503-0911 岐阜県大垣市室本町5丁目51番地
電話 0584-82-2310 FAX 0584-82-2305
<http://www.og-bunka.or.jp/>


SUITOPIA
CENTER
OGAKI CITY
CULTURAL
FOUNDATION



このたび、スイトピアセンター開設30周年を記念して、大垣市出身の美術家 竹中美幸の展覧会を開催します。透明な素材を用いる表現手法にこだわってきた竹中は、初期には透明水彩を中心に、続いてアクリル樹脂や、映画用フィルムを素材としてきました。そして、平面に限らず、立体的な造形や、インスタレーションへと作風を広げています。そこには一貫して、透明な対象への憧憬にも似た作家の探究心が感じられます。

また、2013年頃より展開する映画用フィルムを用いた作品では、初期は、光そのものを写し取っていましたが、のちに、光以外の具体的な形を写すようになっていきます。あえかな光を放つ透明なフィルムに映し出された影は、遠い記憶のように曖昧に、そして、やわらかに形を成しています。姿を留める対象は、長年使われた電灯や椅子など。失われゆくものたちの記憶と、それらの過ごしてきた時間を留めるかのようにフィルムに写し取られた形は、多くを語らず、ただ見る者に物語を委ねます。透明であることを超えて、そこには、記憶と記録を巡る物語が紡がれていきます。

新作・近作で構成される本展では、奥の細道むすびの地である大垣にちなみ、俳聖松尾芭蕉の旅をテーマにした作品や、スイトピアセンターの記憶を辿り、今では貴重となった開設当時の70mmフィルムを作品として生まれ変わらせます。それは、記憶を巡る旅路の物語とも言えます。

やわらかな光の先には、その瞬間の美が宿り、私たちの記憶に語りかけてきます。そこにはきっと、あなただけの新たな物語が生まれゆくでしょう。

そして、物語はつづく。

竹中美幸 たけなか みゆき

<https://takenakamiyuki.com/>

大垣市出身。多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業後、同大学大学院美術研究科修了。東京を拠点に活動。主に透明な素材を用いて制作しており、光や影を取り込んだ平面作品やインスタレーションに展開。近年の個展に「陰と陽と」(2022アートフロントギャラリー/東京)、「都市のさざめき」(2019新宿パークタワーギャラリー1/東京)など。近年のグループ展に奥能登国際芸術祭2020+(スズシアターミュージアム/石川)、クインテットIV五つ星の作家たち(2018SOMPO美術館/東京)、シェル美術賞アーティスト・セレクション2017(国立新美術館/東京)など。

主な受賞歴に2020年清流の国ぎふ芸術祭/篠原資明賞、2012年シェル美術賞/鳥敦彦審査員奨励賞、トーキョーワンダーウォール2010/ワンダーウォール賞など。

 **SUITOPIA CENTER**
OGAKI CITY CULTURAL FOUNDATION

大垣市スイトピアセンター(公財)大垣市文化事業団
〒503-0911 岐阜県大垣市室本町5丁目51番地
電話 0584-82-2310 FAX 0584-82-2305
<http://www.og-bunka.or.jp/>



@ogaki_bunka

電車でお越しの場合/JR大垣駅より徒歩15分(タクシー7分)・養老鉄道室駅より徒歩5分
お車をご利用の場合/名神高速大垣ICより車20分・東海環状自動車道 大垣西ICより車5分
駐車場/普通車200円(475台)

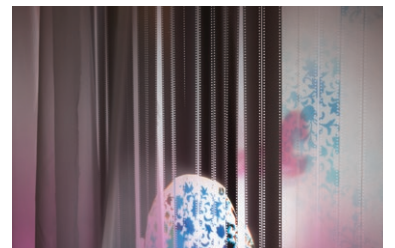
— 法務省人権啓発キャッチコピー — 「誰か」のことじゃない。

Never Ending Journey

竹中美幸展

やわらかな光、やさしい影。
あなたは、そこに、どんな物語を紡ぎますか？

1. 覗いて、眺めて、
After reading, Looking at there,
2021年
奥能登国際芸術祭2020+ スズ・シアター・ミュージアム
撮影:木奥恵三
2. 記憶の音
Sounds of memory
2020年
清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2020
岐阜県美術館 提供:AAIC事務局
3. 都市のさざめき
Soughing city in collaboration with Taira Ichikawa
2019年
新宿クリエイターズフェスタ 2019 新宿パークタワー1F ギャラリー-I
4. 制作風景 イメージ写真
2022年



ご来場のみなさまへ

- ・発熱、咳などの症状が見られる方はご来場をお控えください。
- ・入場時の検温、マスクの着用、手指消毒、来場者同士の距離の確保にご協力ください。

